



会長 浅岡 康雄
副会長 宮台 均
幹事 関 敏幸
副幹事 市川 雅史
会長エレクト 加藤 伸一

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
例会場 オークラフロンティアホテル海老名
海老名市中央2-9-50 TEL046(235)4411
事務局 海老名プライムタワー10階
海老名市中央2-9-50 TEL046(233)5122
編集 飯島 博之 小島 美智子 長浦 文夫
長本 享一

第562回例会

2007年(平成19年)9月13日

会長 挨拶



樺 RC 杯少年野球大会の開会式お疲れさまでした。15チームの中で昔は見られなかった女子選手もおり、しかもピッチャーでしっかり投げておりました。23日は表彰式、皆さんのご参加お願いいたします。

ゲスト・ビジター紹介

川添 勝憲君
(厚木中 RC)



卓話

米山奨学生
バルジソニヤム・バトゾルグ君
(津久井中央 RC)



幹事 報告



《ガバナー事務所からのお知らせ》

★ガバナー月信(2007.9.1) No.3 が届きました。

《R1より》

「毎年あなたも100ドルを」のリーフレットがまいりました。

《例会変更のお知らせ》

相模原東RC 10/1(月) 18:00点鐘 レストラン
「メルシー・ボカー」

相模原大野RC 10/10(水) 取り止・メイクアップは
相模原東RC事務局にて

海老名RC 9/24(月) 19:00点鐘 オークラフ
ロンティアホテル海老名

《週報受理》

相模原大野RC・相模原東RC

《事務局移転のお知らせ》

平塚湘南RC8月3日より 新住所 〒254-0014

平塚市四之宮5-8-20

TEL. 0463-51-4870 FAX 0463-51-4840

ロータリアンありがとう

今から ちょうど4年前、9月20日の便で来日しました。どんな物を食べるか、日本人の人々とコミュニケーションできるか、アパートを借りるのにどんな制度があるのか、天候が合うかどうか、日本語の漢字は絵図のように見えるが、覚えきれぬか・・・等など様々な不安と楽しみ、将来の夢を持ちながら来日しました。実際、大変でした、困ったりしました。

学校を終わってアルバイトをするといった、勉学に集中できないときを実感しました。先進国で沢山勉強し高い技術を身につけ、母国の発展に貢献したい、しかし、物価が高い生活

するだけで大変苦労しました。バイトを終えてから夜中まで宿題するなど非常に忙しい日々を送っていました。私は、「人間は夢と目的を持ち、そのためにあきらめずに努力すればいい時は必ず来る」という言葉を信じています。

大学院に入ってから米山奨学生になったが、奨学金という金銭面だけでなく、ロータリーのいろいろな職業の方々から見習い、貴重なアドバイスを頂き、私はこんなところに気がつかなかった、こんな考え方もあるんだ など「あ～なるほど」があまりに多かったです。外国に留学している人には「なるほど」は思わぬ口から自然と出る言葉だと思います。

奨学生になってからアルバイトしていた時間を減らし、勉学に集中することもできた。研究もスムーズに行ってます。ロータリアン皆様から頂いてるこの貴重なお金を我々留学生は大切に、使い道も無駄にせずにちゃんとやっていることを改めて申し上げたいと思います。顔も知らない、国も違うのに、我々留学生の教育、将来のため寄付していただいている皆様に感謝します。こんな皆さん、ロータリーは私の誇りです。私もいつか皆さんのような人のために何かしてあげたい気持ちでいっぱいです。

562回例会 出席報告

会員数	出席計算 会員数	出席	出席率	560回 修正出席率
32名	32名	25名	78.13%	81.25%

国際ロータリー2780地区の学友会には面白くて社会勉強にもなるような沢山の企画を実施しております。日本に来てから初めて中学校と交流し母国を紹介するチャンスも与えられた、国際理解と異文化を体験しました。また、毎月の例会のようにフットサルを楽しんでいます。初めてフットサル（サッカー）をやりました。本当に感動的でした。こんな素晴らしいスポーツがあるのに今までどうしてやらなかったのだろうと時分をしかる機会となりました。単なる遊びだけでなく、相互理解し学友たちとの交流を深め、同じ異文化の環境にいる友人たちと情報交換できる場となっています。フットサルをやり始めた時から、サッカー試合をテレビで夜遅くまで見るようになりました。サッカーはスポーツのキングであることを改めて実感しました。

グリーンキャンペーンを通じて少しでも環境にも役立ち、キャンペーン終了後バーベキューを美味しく頂きながら国際交流を深めました。また、来月の研修旅行を楽しみにしているところです。

このような学友会の活発な活動はロータリアン皆様はじめ、学友会の役員たちのリーダーシップの力で成り立っていると思います。学友会がもっと沢山の企画を作り出し、もっと沢山の奨学生に「初めて」の感動を与えるには私、学友会の一員として努力し、活発な活動に積極的に参加していきたいと思っています。学友会の今後のご発展を祈ります。

私は津久井中央 RC の毎月例会に参加させていただいています。先月の例会にはモンゴルの国旗と日本の国旗を机の上に置いてありましたが、見た瞬間にモンゴルを思い出し、この両国を大切にしていかなきゃと思いました。世話クラブに出席する度に皆さんの卓話が非常に面白くて、自由感があって、笑顔ばかりで、様々な意味で国際親善と国際交流を深めています。私でも気軽に話しできる環境になっていて、出席する度に何か知恵を得ているように感じます。

米山奨学会の世話クラブ、カウンセラーといった素晴らしい制度のおかげで、カウンセラーの方とのコミュニケーションからも沢山のノウハウ、日本の文化、伝統、人間の歩む道を習っています。

奨学生になってから言葉の力を実感しました。「相手の気持ちに立って考える人間になってください」と高橋先生がおっしゃっていました。当たり前のような言葉ですが、人間は言われたい気が付かないと思っています。人と接する世の中、相互理解を深めコミュニケーションを取るには言葉の力の大切さを感じています。この言葉をいつも自分に言い続けています。

世話クラブ、カウンセラーの方々初め沢山のみなさんと出会い、外国人の留学生達と日本語を共通語としてお互い理解し、日本人の皆さんとも国境を越えた友情が生まれることが出来ました。

大学の研究内容ですが、モンゴル地下資源の経済的効果について調べています。簡単に申し上げますと、南ゴビ砂漠では世界最大級の鉱山が開発され、埋蔵量ですが、金が1000トン、銅の埋蔵量が3200トンといった世界3番めの鉱山が発見され世界中の注目を集めています。日本の三井さんも進出しています。

ちょっと歴史にふれますと、1945年のノモンハン事件（戦争）の誤りに、1980年代社会主義時代に無料でモンゴルのウランバートル市にカシミヤ工場を作ってくれました。しかしながら、今年に入ってから、日本企業に買収され、さらにモンゴル農業銀行（全国に支店を持つ最大銀行）も日本の企業に買収など日本の企業が活発化しています。

私も母国に帰ってから、日本モンゴル観光、そして地下資源の関係の仕事をしたと思っている次第でございます。

最後になりますが、米山記念奨学会の皆様のおかげで、重要なアドバイス、ご指導を頂きました。そして、素晴らしい制度の力で、外国で異文化の中での留学ですが、本当に母国にいるような、母親のそばにいたような環境を作って頂いたおかげで、勉強も順調に進んでおり、上述した様にいろいろな面で自分にとってメリットが沢山ありました。この場を借りて、ロータリアン皆さまをはじめ津久井中央 RC の皆さまにも重ねて深く感謝申し上げますと共に、私の人生そして考え方に大きなプラスを与えてくれた日本の素晴らしい文化、ノウハウを母国モンゴルで広げたい、もっと沢山のみなさんに国際親善と国際交流に国境がないということをお伝えしたい気持ちでいっぱいです。日本で得た知識や文化を通じて両国の平和と発展と貢献したいと思っています。ご清聴ありがとうございます。